

## 既存化学物質審査シート(分解性・蓄積性)

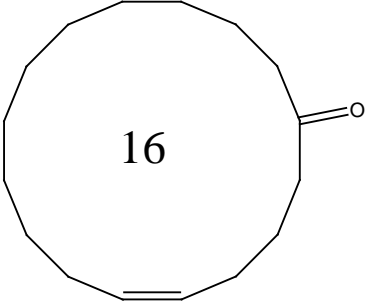
(平成21年10月23日開催)

官報公示 整理番号	CAS No.	物質名称	判定案		頁
			分解性	蓄積性	
2-176 2-185	21542-96-1	<i>N, N</i> -ジメチルドコサン-1-イルアミン	良分解性	—	1
3-2378	37609-25-9	シクロヘキサデカ-5-エン-1-オン	良分解性	—	2
4-218	4162-45-2	2, 2-ビス{3, 5-ジブromo-4-(2-ヒドロキシエトキシ)フェニル}プロパン	難分解性	(高濃縮性でない)	3
5-2279	92-78-4	4'-クロロ-3-ヒドロキシ-2-ナフトアニリド(別名アゾイックCC10)	難分解性	—	4
3-2185	14726-36-4	亜鉛=ビス( <i>N, N</i> -ジベンジルジチオカルバマート)	難分解性	—	5
3-2216	3634-83-1	1, 3-ビス(イソシアナトメチル)ベンゼン	難分解性	—	6
4-346	93-46-9	<i>N, N'</i> -ジ(2-ナフチル)-1, 4-フェニレンジアミン	(難分解性)	高濃縮性でない	7
5-1632	-	2-([4-[ <i>N</i> -エチル- <i>N</i> -(3-スルホベンジル)アミノ]フェニル]{4-[ <i>N</i> -エチル- <i>N</i> -(3-スルホベンジル)アザニウミリデン]シクロヘキサ-2, 5-ジエン-1-イリド	(難分解性)	高濃縮性でない	8
2-1696	1892-57-5	<i>N</i> -[(エチルイミノ)メチリデン]- <i>N', N'</i> -ジメチルプロパン-1, 3-ジイルジアミン	(難分解性)	高濃縮性でない	9
5-1504	3520-42-1	ナトリウム=4-[6-( <i>N, N</i> -ジエチルアミノ)-3-( <i>N, N</i> -ジエチルアザニウミリデン)-3 <i>H</i> -キサンテン-9-イル]ベンゼン-1, 3-ジスルホナート	(難分解性)	高濃縮性でない	10
4-655	281-23-2	アダマンタン	難分解性	高濃縮性でない	11
5-3098	20749-68-2	8, 9, 10, 11-テトラクロロ-12 <i>H</i> -イソインドロ[2, 1-a]ペリミジン-12-オン	難分解性	高濃縮性でない	12
4-605 4-1219	3407-42-9	3-(5, 5, 6-トリメチルビシクロ[2. 2. 1]ヘプタン-2-イル)シクロヘキサノール	難分解性	高濃縮性でない	13
4-798	1667-10-3	4, 4'-ビス(クロロメチル)ビフェニル	難分解性	高濃縮性でない	14
4-1234	32388-55-9	1-(2, 6, 6, 8-テトラメチルトリシクロ[5. 3. 1. 0 <sup>1, 5</sup> ]ウンデカ-8-エン-9-イル)エタン-1-オン	難分解性	高濃縮性でない	16

既存化学物質審査シート

官報公示 整理番号	2-176,2-185	CAS No.	21542-96-1	管理番号	K-1777
判定案	分解性：良分解性 蓄積性：－				
名称 構造式等	名 称：N, N-ジメチルドコサン-1-イルアミン 分子量：353.67 分子式：C <sub>24</sub> H <sub>51</sub> N $\text{C}_{22}\text{H}_{45}-\text{N}-(\text{CH}_3)_2$				
用途	2-176として中間物、洗剤、殺虫剤、殺菌剤、防汚剤、添加剤（繊維用）等※ <sup>1</sup>				
製造及び 輸入数量	2-176として1,000～10,000 t未満※ <sup>1</sup>				
外観	白色固体				
溶解度	水：<100mg/L				
分解性	<b>良分解性</b>  標準法 分解度試験（化審法テストガイドライン：28日間） B O Dによる平均分解度：36 %（34, 38, 36）（基礎呼吸区 8.2 mg、汚泥区平均 45.1mg） G Cによる平均分解度：66 %（65, 72, 61） pH 調整：無  逆転法 分解度試験（OECD テストガイドライン 302C：28日間） B O Dによる平均分解度：35 %（29, 28, 47）（基礎呼吸区 27 mg、汚泥区平均 37.6mg） G Cによる平均分解度：>99 %（>99, >99, 99） pH 調整：無				
備考	※1 化学物質の製造・輸入量に関する実態調査（平成16年実績）				

既存化学物質審査シート

官報公示 整理番号	3-2378	CAS No.	37609-25-9	管理番号	K-1838
判定案	分解性：良分解性 蓄積性：－				
名称 構造式等	名 称：シクロヘキサデカ－5－エン－1－オン 分子量：236.39 分子式：C <sub>16</sub> H <sub>28</sub> O <div style="text-align: center;">  </div>				
用途	－				
製造及び 輸入数量	－				
外観	無色透明液体				
溶解度	水：<1.0mg/L アセトニトリル：1.0×10 <sup>4</sup> mg/L 以上				
分解性	<b>良分解性</b> 分解度試験（化審法テストガイドライン、OECD テストガイドライン 301C：28 日間） B O Dによる平均分解度：66 %（71, 56, 71）（基礎呼吸区 4.2 mg、汚泥区平均 64.7mg） HPLCによる平均分解度：92 %（100, 81, 96） pH 調整：無				
備考					

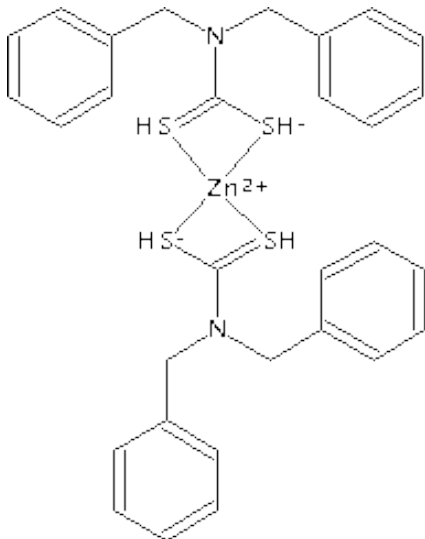
既存化学物質審査シート

官報公示 整理番号	4-218	CAS No.	4162-45-2	管理番号	K-369
判定案	分解性：難分解性 蓄積性：高濃縮性でない（審議済み）				
名称 構造式等	名称：2, 2-ビス {3, 5-ジブロモ-4-(2-ヒドロキシエトキシ) フェニル} プロパン 分子量：631.98 分子式：C <sub>19</sub> H <sub>20</sub> Br <sub>4</sub> O <sub>4</sub>				
用途	4-218として中間物、添加剤（合成樹脂用）等※ <sup>1</sup>				
製造及び 輸入数量	4-218として1,000～10,000 t未満※ <sup>1</sup>				
外観	白色粉末				
溶解度	水：0.776mg/L アセトニトリル：1.0×10 <sup>4</sup> mg/L以上				
分解性	<b>難分解性</b> 分解度試験（化審法テストガイドライン、OECDテストガイドライン301C：28日間） BODによる平均分解度：3%（0, 4, 5）（基礎呼吸区 9.2mg、汚泥区平均 10.0mg） HPLCによる平均分解度：0%（0, 0, 0） pH調整：無				
蓄積性	<b>高濃縮性でない（平成15年6月20日審議済み）</b> 濃縮度試験（化審法テストガイドライン、OECDテストガイドライン305：60日間） 試験魚種（急性毒性試験：ヒメダカ <i>Oryzias latipes</i> 、濃縮度試験：コイ <i>Cyprinus carpio</i> ） 96hLC <sub>50</sub> 値：>1.00 mg/L（助剤使用：DMF） 水槽設定濃度（第1濃度区）：10 μg/L、（第2濃度区）：1 μg/L 助剤使用：有（第1濃度区）DMF 1,000 mg/L（第2濃度区）DMF 1,000 mg/L BCF（第1濃度区）：52～170倍、BCF（第2濃度区）：42～250倍				
備考	※ <sup>1</sup> 化学物質の製造・輸入量に関する実態調査（平成16年実績）				

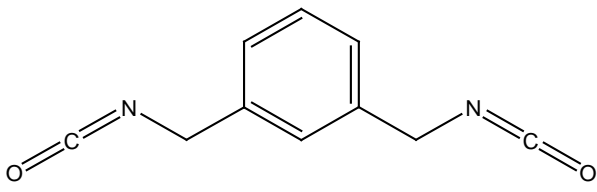
既存化学物質審査シート

官報公示 整理番号	5-2279	CAS No.	92-78-4	管理番号	K-1840
判定案	分解性：難分解性 蓄積性：－				
名称 構造式等	名 称：4'-クロロ-3-ヒドロキシ-2-ナフトアニリド (別名アゾイックCC10) 分子量：297.74 分子式：C <sub>17</sub> H <sub>12</sub> ClNO <sub>2</sub>				
用途	－				
製造及び 輸入数量	－				
外観	亜麻色粉末				
溶解度	水：<1.0mg/L メタノール：6.6×10 <sup>2</sup> mg/L 酢酸エチル：2.3×10 <sup>3</sup> mg/L				
分解性	<b>難分解性</b> 分解度試験（化審法テストガイドライン、OECD テストガイドライン 301C：28 日間） BODによる平均分解度：1%（1, 1, 2）（基礎呼吸区 5.6 mg、汚泥区平均 6.5mg） HPLCによる平均分解度：0%（0, 0, 0） pH 調整：無				
備考					

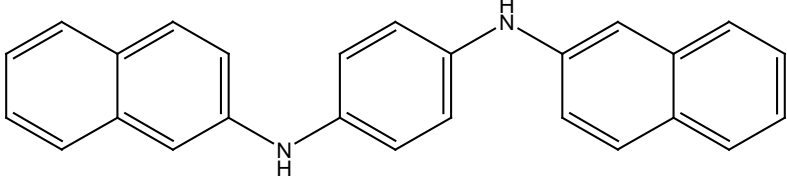
既存化学物質審査シート

官報公示 整理番号	3-2185	CAS No.	14726-36-4	管理番号	K-1841
判定案	分解性：難分解性 蓄積性：－				
名称 構造式等	名称：亜鉛＝ビス（ <i>N</i> ， <i>N</i> －ジベンジルジチオカルバマート） 分子量：610.23 分子式：C <sub>30</sub> H <sub>28</sub> N <sub>2</sub> S <sub>4</sub> Zn <div style="text-align: center;">  </div>				
用途	－				
製造及び 輸入数量	－				
外観	白色粉末				
溶解度	水：<1.0mg/L 酢酸エチル：2.0×10 <sup>3</sup> mg/L アセトニトリル：1.9×10 <sup>2</sup> mg/L				
分解性	<b>難分解性</b> 分解度試験（化審法テストガイドライン、OECD テストガイドライン 301C：28 日間） B O Dによる平均分解度：0 %（0, 0, 0）（基礎呼吸区 6.2 mg、汚泥区平均 6.0mg） HPLCによる平均分解度：0 %（0, 0, 0） pH 調整：無				
備考					

既存化学物質審査シート

官報公示 整理番号	3-2216	CAS No.	3634-83-1	管理番号	K-1488
判定案	分解性：難分解性（変化物あり） 蓄積性：－				
名称 構造式等	名 称：1, 3-ビス（イソシアナトメチル）ベンゼン 分子量：188.18 分子式：C <sub>10</sub> H <sub>8</sub> N <sub>2</sub> O <sub>2</sub> <div style="text-align: center;">  </div>				
用途	－				
製造及び 輸入数量	－				
外観	無色透明液体				
溶解度	水：<100mg/L				
分解性	<p><b>難分解性（変化物あり）</b></p> 分解度試験（化審法テストガイドライン：28日間） B O Dによる平均分解度：0 %（-1, -2, -2）（基礎呼吸区 4.3 mg、汚泥区平均 3.3mg） G Cによる平均分解度：>99 %（>99, >99, >99） pH調整：無				
	①被験物質は全量構造変化し、 <i>m</i> -キシリレンジアミン(3-308、難分解性、高濃縮性でない)が28～30%生成している。それ以外の変化物としては2量体の尿素誘導体とその末端が生分解されカルボン酸となった化合物及び高分子性の尿素誘導体が生成している。				
備考					

既存化学物質審査シート

官報公示 整理番号	4-346	CAS No.	93-46-9	管理番号	K-1761
判定案	分解性：難分解性（審議済み） 蓄積性：高濃縮性でない				
名称 構造式等	名称：N, N'-ジ（2-ナフチル）-1, 4-フェニレンジアミン 分子量：360.45 分子式：C <sub>26</sub> H <sub>20</sub> N <sub>2</sub> 				
用途	-				
製造及び 輸入数量	-				
外観	灰色粉末				
溶解度	水：2.21 μg/L THF：≥10 g/L				
分解性	難分解性(平成17年11月18日審議済み) 分解度試験（化審法テストガイドライン、OECDテストガイドライン301C：28日間） BODによる平均分解度：0% (-2, -1, -1)（基礎呼吸区 7.1mg、汚泥区平均 5.7mg） HPLCによる平均分解度：0% (0, 0, 1) pH調整：無				
蓄積性	高濃縮性でない 濃縮度試験（化審法テストガイドライン、OECDテストガイドライン305：28日間） 試験魚種（急性毒性試験：ヒメダカ <i>Oryzias latipes</i> 、濃縮度試験：コイ <i>Cyprinus carpio</i> ） 96hLC50値：>10.0 mg/L（助剤使用：HCO-40、DMF） 水槽設定濃度（第1濃度区）：2 μg/L、（第2濃度区）：0.2 μg/L 助剤使用：有（第1濃度区）HCO-40 10 mg/L, DMF 20,000 mg/L （第2濃度区）HCO-40 1 mg/L, DMF 2,000 mg/L BCFss（第1濃度区）：2,300倍、BCFss（第2濃度区）：1,100倍  <部位別濃縮倍率> 頭部（第1濃度区）：2,000、2,200倍（第2濃度区）：1,100、1,300倍 内臓（第1濃度区）：5,300、6,500倍（第2濃度区）：3,300、6,000倍 可食部（第1濃度区）：1,000、1,200倍（第2濃度区）：570、830倍 外皮（第1濃度区）：1,600、1,800倍（第2濃度区）：1,400、1,700倍  <排泄試験：8日間> 半減期（第1濃度区）：2.9日（第2濃度区）：2.2日				
備考					



既存化学物質審査シート

官報公示 整理番号	5-1632	CAS No.	—	管理番号	K-1822
判定案	分解性：難分解性（審議済み） 蓄積性：高濃縮性でない				
名称 構造式等	名称：2-（{4-〔N-エチル-N-（3-スルホベンジル）アミノ〕フェニル} {4-〔N-エチル-N-（3-スルホベンジル）アザニウミリデン〕シクロヘキサ-2,5-ジエン-1-イリデン}メチル）ベンゼンスルホナート 分子量：748.88 分子式：C <sub>37</sub> H <sub>36</sub> N <sub>2</sub> O <sub>9</sub> S <sub>3</sub>				
用途	添加剤（色素〔塗料、顔料〕）、接着剤、殺虫剤・殺菌剤等※ <sup>1</sup>				
製造及び 輸入数量	10,000～100,000 t 未満※ <sup>1</sup>				
外観	赤紫色粉末				
溶解度	水：≥300 g/L メタノール：≥10 g/L				
分解性	<b>難分解性(平成20年12月19日審議済み)</b> ①ナトリウム塩(3844-45-9)にて試験実施 分解度試験（化審法テストガイドライン、OECDテストガイドライン301C：28日間） BODによる平均分解度：2%（5, 1, 1）（基礎呼吸区 8.8mg、汚泥区平均 7.6mg） DOCによる平均分解度：0%（-1, 1, 1） HPLCによる平均分解度：0%（-1, 0, -1） pH調整：無				
蓄積性	<b>高濃縮性でない</b> ①ナトリウム塩(3844-45-9)にて試験実施 濃縮度試験（化審法テストガイドライン、OECDテストガイドライン305：28日間） 試験魚種（急性毒性試験：ヒメダカ <i>Oryzias latipes</i> 、濃縮度試験：コイ <i>Cyprinus carpio</i> ） 96hLC50値：>200.0 mg/L（助剤使用：なし） 水槽設定濃度（第1濃度区）：2mg/L、（第2濃度区）：0.2mg/L 助剤使用：なし ピーク1 BCF（第1濃度区）：≤0.6倍、 BCF（第2濃度区）：≤6倍 ピーク2 BCF（第1濃度区）：≤0.052倍、 BCF（第2濃度区）：≤0.52倍 ピーク3 BCF（第1濃度区）：≤0.017倍、 BCF（第2濃度区）：≤0.17倍				
備考	※ <sup>1</sup> 化学物質の製造・輸入量に関する実態調査（平成16年実績）				

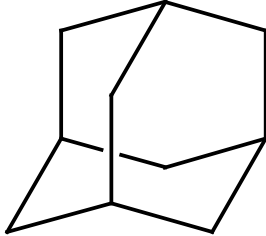
既存化学物質審査シート

官報公示 整理番号	2-1696	CAS No.	1892-57-5	管理番号	K-1829
判定案	分解性：難分解性（審議済み） 蓄積性：高濃縮性でない				
名称 構造式等	名 称：N- [(エチルイミノ) メチリデン] -N', N'-ジメチルプロパン-1, 3-ジイルジアミン 分子量：155.24 分子式：C <sub>8</sub> H <sub>17</sub> N <sub>3</sub>				
	$\text{CH}_3\text{CH}_2-\text{N}=\text{C}=\text{N}-\text{CH}_2\text{CH}_2\text{CH}_2-\text{N} \begin{array}{l} \text{CH}_3 \\ \text{CH}_3 \end{array}$				
用途	中間物、脱水剤・乾燥剤等 <sup>※1</sup>				
製造及び 輸入数量	10,000～100,000 t 未満 <sup>※1</sup>				
外観	白色粉末				
溶解度	水：≥300 g/L アセトニトリル：≥10 g/L				
分解性	<b>難分解性(平成20年12月19日審議済み)</b> ①塩酸塩(25952-53-8)にて試験実施 分解度試験（化審法テストガイドライン、OECDテストガイドライン301C：28日間） B O Dによる平均分解度：0%（-3, -4, -5）（基礎呼吸区 7.7mg、汚泥区平均 4.7mg） D O Cによる平均分解度：4%（4, 5, 3） HPLCによる平均分解度：0%（0, 0, 1） pH調整：無				
蓄積性	<b>高濃縮性でない</b> ①塩酸塩(25952-53-8)にて試験実施 濃縮度試験（化審法テストガイドライン、OECDテストガイドライン305：28日間） 試験魚種（急性毒性試験：ヒメダカ <i>Oryzias latipes</i> 、濃縮度試験：コイ <i>Cyprinus carpio</i> ） 96hLC50値：17.7 mg/L（助剤使用：なし） 水槽設定濃度（第1濃度区）：100 μg/L、（第2濃度区）：10 μg/L 助剤使用：なし BCF（第1濃度区）：≤0.48倍、BCF（第2濃度区）：≤4.8倍				
備考	※1 化学物質の製造・輸入量に関する実態調査（平成16年実績）				

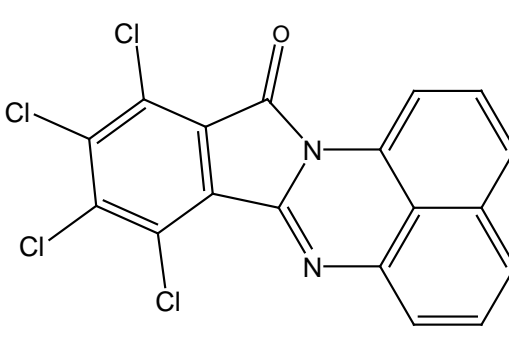
既存化学物質審査シート

官報公示 整理番号	5-1504	CAS No.	3520-42-1	管理番号	K-1830
判定案	分解性：難分解性（審議済み） 蓄積性：高濃縮性でない				
名称 構造式等	名称：ナトリウム＝4－[6－（ <i>N,N</i> －ジエチルアミノ）－3－（ <i>N,N</i> －ジエチルアザニウミリデン）－3 <i>H</i> －キサンテン－9－イル]ベンゼン－1，3－ジスルホナート 分子量：580.65 分子式：C <sub>27</sub> H <sub>29</sub> N <sub>2</sub> NaO <sub>7</sub> S <sub>2</sub>				
用途	—				
製造及び 輸入数量	—				
外観	黒褐色粉末				
溶解度	水：≥100 g/L アセトニトリル：<1 g/L				
分解性	<b>難分解性(平成20年12月19日審議済み)</b> 分解度試験（化審法テストガイドライン、OECDテストガイドライン301C：28日間） BODによる平均分解度：6%（8, 5, 5）（基礎呼吸区 6.2mg、汚泥区平均 9.5mg） DOCによる平均分解度：0%（0, 1, 0） HPLCによる平均分解度：0%（-3, -2, -2） pH調整：無				
蓄積性	<b>高濃縮性でない</b> 濃縮度試験（化審法テストガイドライン、OECDテストガイドライン305：28日間） 試験魚種（急性毒性試験：ヒメダカ <i>Oryzias latipes</i> 、濃縮度試験：コイ <i>Cyprinus carpio</i> ） 96hLC50値：>200 mg/L（助剤使用：なし） 水槽設定濃度（第1濃度区）：1,690 μg/L、（第2濃度区）：169 μg/L 助剤使用：なし BCF（第1濃度区）：≤0.57倍、BCF（第2濃度区）：≤5.3倍				
備考					

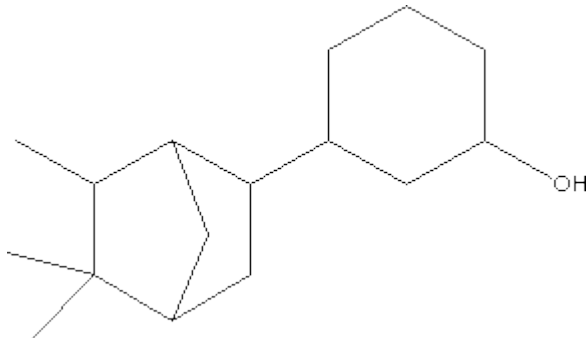
既存化学物質審査シート

官報公示 整理番号	4-655	CAS No.	281-23-2	管理番号	K-1800
判定案	分解性：難分解性 蓄積性：高濃縮性でない				
名称 構造式等	名 称：アダマンタン 分子量：136.23 分子式：C <sub>10</sub> H <sub>16</sub> 				
用途	中間物、電子材料等製品用（半導体）等※ <sup>1</sup>				
製造及び 輸入数量	10～100 t 未満※ <sup>1</sup>				
外観	結晶性白色粉末				
溶解度	水：0.21 mg/L				
分解性	<b>難分解性</b> 分解度試験（OECD テストガイドライン 301D：28 日間） B O Dによる平均分解度：15 % (17, 12)（基礎呼吸区 0.72mg/L、汚泥区平均 1.75mg/L） G Cによる平均分解度：0 % (-3, -6) pH 調整：無				
蓄積性	<b>高濃縮性でない</b> 濃縮度試験（化審法テストガイドライン：60日間） 試験魚種（急性毒性試験：ヒメダカ <i>Oryzias latipes</i> 、濃縮度試験：コイ <i>Cyprinus carpio</i> ) 96hLC50値：>1 mg/L（助剤使用：アセトン） 水槽設定濃度（第1濃度区）：0.01mg/L、（第2濃度区）：0.001mg/L 助剤使用：（第1濃度区）アセトン 40mg/L（第2濃度区）アセトン 40mg/L BCF（第1濃度区）：1,130～2,980倍、BCF <sub>ss</sub> （第2濃度区）：1,970倍  <部位別濃縮倍率> 頭部（第1濃度区）：3,350倍、（第2濃度区）：3,020倍 内臓（第1濃度区）：7,400倍、（第2濃度区）：4,320倍 可食部（第1濃度区）：1,560倍、（第2濃度区）：1,050倍 外皮（第1濃度区）：3,030倍、（第2濃度区）：2,890倍  <排泄試験：4日間> 半減期（第1濃度区）：1.6日、（第2濃度区）：2.1日				
備考	※ <sup>1</sup> 化学物質の製造・輸入量に関する実態調査（平成16年実績）				

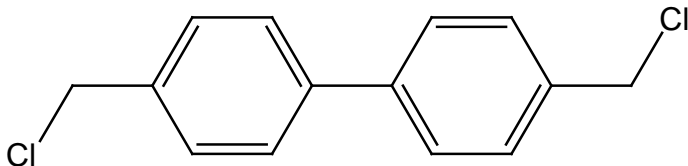
既存化学物質審査シート

官報公示 整理番号	5-3098	CAS No.	20749-68-2	管理番号	K-1803
判定案	分解性：難分解性 蓄積性：高濃縮性でない				
名称 構造式等	名称：8, 9, 10, 11-テトラクロロ-12 <i>H</i> -イソインドロ[2,1- <i>a</i> ]ペリ ミジン-12-オン 分子量：408.07 分子式：C <sub>18</sub> H <sub>6</sub> Cl <sub>4</sub> N <sub>2</sub> O <div style="text-align: center;">  </div>				
用途	添加剤（色素 [塗料、顔料]）等 <sup>※1</sup>				
製造及び 輸入数量	10～100 t 未満 <sup>※1</sup>				
外観	赤色粉末				
溶解度	水：0.0052 mg/L THF：>200mg/L				
分解性	<b>難分解性</b> 分解度試験（化審法テストガイドライン：28日間） BODによる平均分解度：0% (0, 0, -1)（基礎呼吸区 5.6mg/L、汚泥区平均 5.3mg/L） HPLCによる平均分解度：1% (-2, -4, 3) pH調整：無				
蓄積性	<b>高濃縮性でない</b> 濃縮度試験（化審法テストガイドライン：28日間） 試験魚種（急性毒性試験：ヒメダカ <i>Oryzias latipes</i> 、濃縮度試験：コイ <i>Cyprinus carpio</i> ） 96hLC50値：>1 mg/L（助剤使用：HCO-40、THF） 水槽設定濃度（第1濃度区）：0.01mg/L、（第2濃度区）：0.001mg/L 助剤使用：（第1濃度区）HCO-40 0.2mg/L、THF 50mg/L （第2濃度区）HCO-40 0.02mg/L、THF 50mg/L BCF（第1濃度区）：<5～21倍、BCF（第2濃度区）：<47～<50倍				
備考	※1 化学物質の製造・輸入量に関する実態調査（平成16年実績）				

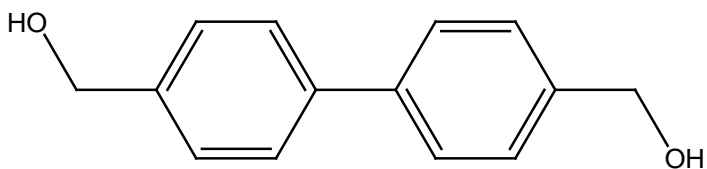
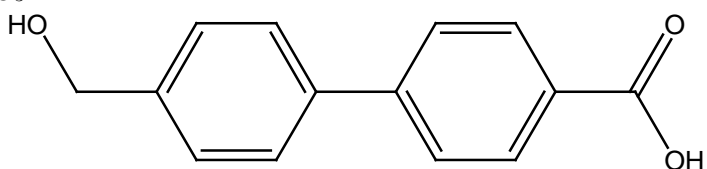
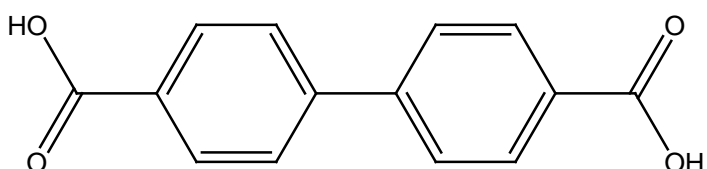
既存化学物質審査シート

官報公示 整理番号	4-605,4-1219	CAS No.	3407-42-9	管理番号	K-1837
判定案	分解性：難分解性 蓄積性：高濃縮性でない				
名称 構造式等	名 称：3-(5,5,6-トリメチルビシクロ[2.2.1]ヘプタン-2-イル)シクロヘキサノール 分子量：236.40 分子式：C <sub>16</sub> H <sub>28</sub> O 				
用途	-				
製造及び 輸入数量	-				
外観	無色粘性液体				
溶解度	成分A 水：4.2 mg/L 成分B 水：4.1mg/L				
分解性	<b>難分解性</b> 分解度試験（化審法テストガイドライン：28日間） B O Dによる平均分解度：0% (0, 0, -1)（基礎呼吸区 4.7mg/L、汚泥区平均 4.2mg/L） G Cによる平均分解度：3% (1, 4, 3) pH調整：無				
蓄積性	<b>高濃縮性でない</b> 濃縮度試験（化審法テストガイドライン：60日間） 試験魚種（急性毒性試験：ヒメダカ <i>Oryzias latipes</i> 、濃縮度試験：コイ <i>Cyprinus carpio</i> ） 96hLC50値：>0.5 mg/L（助剤使用：2-メキシエタノール） 水槽設定濃度（第1濃度区）：0.005mg/L、（第2濃度区）：0.0005mg/L 助剤使用：（第1濃度区）2-メキシエタノール 25mg/L （第2濃度区）2-メキシエタノール 25mg/L 成分A BCF <sub>ss</sub> （第1濃度区）：133倍、BCF <sub>ss</sub> （第2濃度区）：264倍 成分B BCF <sub>ss</sub> （第1濃度区）：319倍、BCF <sub>ss</sub> （第2濃度区）：496倍 成分C BCF <sub>ss</sub> （第1濃度区）：493倍、BCF（第2濃度区）：<1120~2,180倍  <成分Cの部位別濃縮倍率> 頭部（第1濃度区）：560倍、（第2濃度区）：2,460倍 内臓（第1濃度区）：1,510倍、（第2濃度区）：<11,100倍 可食部（第1濃度区）：249倍、（第2濃度区）：<1,450倍 外皮（第1濃度区）：814倍、（第2濃度区）：5,630倍  <成分Cの排泄試験：3日間> 半減期（第1濃度区）：0.45日、（第2濃度区）：<0.7日				
備考					

既存化学物質審査シート

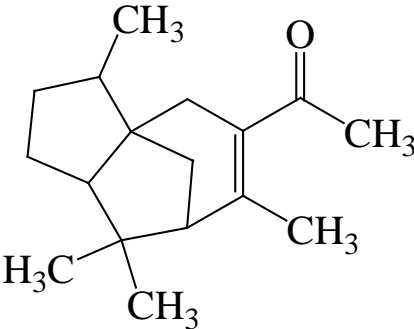
官報公示 整理番号	4-798	CAS No.	1667-10-3	管理番号	K-1835
判定案	分解性：難分解性（変化物あり） 蓄積性：高濃縮性でない				
名称 構造式等	名 称：4，4′－ビス(クロロメチル)ビフェニル 分子量：251.15 分子式：C <sub>14</sub> H <sub>12</sub> Cl <sub>2</sub> 				
用途	－				
製造及び 輸入数量	－				
外観	灰白色結晶性粉末				
溶解度	水：20.1 μg/L				
分解性	<b>難分解性</b> 分解度試験（化審法テストガイドライン、OECDテストガイドライン301C：28日間） B O Dによる平均分解度：0%(-2, -2,-1)（基礎呼吸区 10.2mg/L、汚泥区平均9.2mg/L） G Cによる平均分解度：3%（4, 7, -2） pH調整：無 ①被験物質は一部分解し4，4′－ビフェニルジメタノール（変化物1）が2～3%生成した。また、生成率不明の塩化物イオン、4′－ヒドロキシメチルビフェニルカルボン酸（変化物2）、4，4′－ビフェニルジカルボン酸（変化物3）及びその他の構造不明物（変化物4）が生成した。なお、塩化物イオンについては、既知見通知（「既に得られているその組成、性状等に関する知見」としての取り扱いについて（最終改正：平成16年9月16日））において第一種特定化学物質、第二種及び第三種監視化学物質に該当しないものとして取り扱うこととされている。				
蓄積性	<b>高濃縮性でない</b> 濃縮度試験（化審法テストガイドライン、OECDテストガイドライン301C：28日間） 試験魚種（急性毒性試験：ヒメダカ <i>Oryzias latipes</i> 、濃縮度試験：コイ <i>Cyprinus carpio</i> ） 96hLC50値：0.973 mg/L（助剤使用：HCO-40、アセトン） 水槽設定濃度（第1濃度区）：10 μg/L、（第2濃度区）：1 μg/L 助剤使用：（第1濃度区）HCO-40 10倍量、アセトン 100 μg/L （第2濃度区）HCO-40 10倍量、アセトン 10 μg/L BCF（第1濃度区）：≤5倍、BCF（第2濃度区）：≤48倍				
備考	変化物1～4あり				

既存化学物質審査シート

官報公示 整理番号	4-798 の変化物 1～4	CAS No.	—	管理番号	K-1835
判定案	分解性：— 蓄積性：高濃縮性でない				
名称 構造式等	<p>変化物 1                  名 称：4, 4' -ビフェニルジメタノール                  分子量：214.26                  分子式：C<sub>14</sub>H<sub>14</sub>O<sub>2</sub></p>  <p>変化物 2                  名 称：4' -ヒドロキシメチルビフェニルカルボン酸                  分子量：228.24                  分子式：C<sub>14</sub>H<sub>12</sub>O<sub>3</sub></p>  <p>変化物 3                  名 称：4, 4' -ビフェニルジカルボン酸                  分子量：242.23                  分子式：C<sub>14</sub>H<sub>10</sub>O<sub>4</sub></p>  <p>変化物 4                  名 称：その他の構造不明物                  分子量：不明                  分子式：不明</p>				
用途	—				
製造及び 輸入数量	—				
外観	—				
溶解度	—				
分解性	—				
蓄積性	高濃縮性でない ①変化物 1～3 は被験物質と構造が類似しており、また、ODSカラムを用いた分析においても変化物 1～4 のいずれも被験物質よりも早く溶出しているため被験物質より極性が高いと推定され、高濃縮性でないと考えられる。				
備考					



既存化学物質審査シート

官報公示 整理番号	4-1234	CAS No.	32388-55-9	管理番号	K-1801
判定案	分解性：難分解性 蓄積性：高濃縮性でない				
名称 構造式等	名 称：1－（2，6，6，8－テトラメチルトリシクロ [5.3.1.0 <sup>1,5</sup> ] ウンデ カ－8－エン－9－イル）エタン－1－オン 分子量：246.39 分子式：C <sub>17</sub> H <sub>26</sub> O 				
用途	－				
製造及び 輸入数量	－				
外観	淡黄色液体				
溶解度	水：ピーク 1 0.0147mg/L、ピーク 2 0.0944mg/L、ピーク 3 0.941mg/L、 ピーク 4 0.128mg/L、ピーク 5 0.0556mg/L、ピーク 6 0.0169mg/L、 ピーク 7 0.0251mg/L、ピーク 8 0.0896mg/L、ピーク 9 0.0180mg/L、 ピーク 10 0.163mg/L				
分解性	<b>難分解性</b> 分解度試験（化審法テストガイドライン、OECD テストガイドライン 301C：28 日間） B O Dによる平均分解度：0 % (0, 1, -3)（基礎呼吸区 4.6mg/L、汚泥区平均 4.0mg/L） G Cによる平均分解度：3 % (2, 4, 1) ピーク 1：2 % (0, 3, 3) ピーク 2：1 % (2, 1, 1) ピーク 3：2 % (2, 4, 0) ピーク 4：6 % (4, 9, 4) ピーク 5：2 % (2, 5, 0) ピーク 6：5 % (7, 5, 5) ピーク 7：0 % (1, -1, -2) ピーク 8：2 % (2, 4, 1) ピーク 9：2 % (0, 4, 0) ピーク 10：2 % (2, 2, 3) pH 調整：無				

蓄積性	<p>高濃縮性でない</p> <p>濃縮度試験（化審法テストガイドライン：28日間）</p> <p>試験魚種（急性毒性試験：ヒメダカ <i>Oryzias latipes</i>、濃縮度試験：コイ <i>Cyprinus carpio</i>）</p> <p>96hLC50値：1.22 mg/L（助剤使用：HCO-40、DMF）</p> <p>水槽設定濃度（第1濃度区）：4.59 <math>\mu</math>g/L、（第2濃度区）：0.459 <math>\mu</math>g/L</p> <p>助剤使用：（第1濃度区）HCO-40 10 <math>\mu</math>L/L、DMF 25 <math>\mu</math>L/L  （第2濃度区）HCO-40 1 <math>\mu</math>L/L、DMF 25 <math>\mu</math>L/L</p> <p>ピーク1 BCF<sub>ss</sub>（第1濃度区）：260倍、BCF<sub>ss</sub>（第2濃度区）：330倍</p> <p>ピーク2 BCF<sub>ss</sub>（第1濃度区）：240倍、BCF<sub>ss</sub>（第2濃度区）：310倍</p> <p>ピーク3 BCF<sub>ss</sub>（第1濃度区）：420倍、BCF<sub>ss</sub>（第2濃度区）：640倍</p> <p>ピーク4 BCF<sub>ss</sub>（第1濃度区）：240倍、BCF<sub>ss</sub>（第2濃度区）：300倍</p> <p>ピーク5 BCF<sub>ss</sub>（第1濃度区）：310倍、BCF<sub>ss</sub>（第2濃度区）：400倍</p> <p>ピーク6 BCF<sub>ss</sub>（第1濃度区）：300倍、BCF<sub>ss</sub>（第2濃度区）：470倍</p> <p>ピーク7 BCF<sub>ss</sub>（第1濃度区）：340倍、BCF<sub>ss</sub>（第2濃度区）：460倍</p> <p>ピーク8 BCF<sub>ss</sub>（第1濃度区）：240倍、BCF<sub>ss</sub>（第2濃度区）：360倍</p> <p>ピーク9 BCF<sub>ss</sub>（第1濃度区）：340倍、BCF<sub>ss</sub>（第2濃度区）：420倍</p> <p>ピーク10 BCF<sub>ss</sub>（第1濃度区）：310倍、BCF<sub>ss</sub>（第2濃度区）：320倍</p>
備考	